



政府・県は大規模な経済対策発動で地域を守れ！

豊かさを感じられる山形創造に向け働きます！

皆さん、こんにちは。梅津ようせいです。県議会議員に就任して1年が経過しました。新型コロナのまん延で、思うような活動ができておりませんが、議会活動を通じて、地域の声をできるだけ多く県当局に伝え、安心・安全な山形をつくるために行動しています。

この1年、大雨の氾濫危険のあった「須川」や熱海で起こったような災害を引き起こす可能性のある盛土の問題、県の基幹産業たる農業振興（凍霜害等災害への対応や主食たる米の生産のあり方）等、現場に密着した政策を取り上げてまいりました。

新型コロナは6波へと進み、未収束。飲食店や観光業のみならず、広範な企業の業績に影響しており、主要国が急速に経済回復する中で、日本が完全に立ち遅れている状況を克服せねばなりません。

感染拡大と経済の両立が必要です。経済対策として、急騰するガソリン価格等の軽減のため、トリガー条項凍結を解除して税金を下げることや、子育て支援策の所得制限を撤廃し、子育てのためにお金が回るようにするなど、家計にプラスになる施策はまだあります。



国に対して地方から大きな声を上げていくことが大切です。

県では平山雅之氏が新副知事に就任しました。商工に通じ、新型コロナで傷む山形の経済を回復させるため、国にしっかり物を言い、国を先導する大胆な施策を打ち出してもらうことを期待したいと思います。

私に残された任期はあと1年余。次の1年も、新型コロナの克服と経済回復、そして災害への備えを重視しながら行政監視と政策の提案をし、豊かな人間社会の構築するために働きます。皆様のお支えに感謝し、引き続きお声をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

舟山康江参議院議員と連携して県政を前進！

舟山康江参議院議員は、農林水産政策や国土交通政策、消費者安全に関する政策等の面で精力的に提案し、活動してきました。

舟山さんは農林水産省、私は防衛庁(省)ですが、同じ平成2年入省であり、学年も同学年。

食料を供給し、環境を守り、地域コミュニティを守る農林漁業は、「国民を守る」という点で共通しています。地域に根差した活動を行い、「対決より解決」を掲げ、国政で行政監視と政策提案を行う舟山康江さんと引き続き連携を取りながら県政を前に進め、幸せと豊かさを感じられる地域社会づくりに邁進してまいります。



議会での活動

本会議 (9月定例会一般質問から)

【問】熱海のように盛土が原因で災害が起こらぬよう盛土危険箇所の調査が行われるが、山形県における危険箇所の調査及び指導を県としてどう行っているか。

【答】38か所の危険箇所を確認し、必要に応じ現地点検を進める。現地点検を行っている箇所の内一箇所は、法令遵守の観点から産廃の適正処理と排水処理について山形市が指導を行った。

【問】少なくとも新型コロナの抗原検査は、濃厚接触者に限らず広く希望者が無料かつ自宅で受けことができる体制を作るべき。

【答】検査の精度が不十分になりかねないので、最寄りの診療・検査医療機関で検査を公費負担で受けてもらいたい。



【その他】

- ① エネルギー政策
(再生可能エネルギー発電施設設置に係る条例制定)
- ② 農業政策 (米の販売戦略)
- ③ 行政の効率化
(福祉型障がい児入所施設民間移譲等)
- ④ 行政組織
(特命補佐のあり方や県職員の働き方等)

年明けから**無料**抗原検査及びPCRが実現！

3月末までの予定。検査資材不足解消等についても、しっかり指摘していきます。

◎県内のドラッグストアで検査ができます！⇒
<https://yamagata-pcr.com/>



農林水産常任委員会から



【問】凍霜害から果樹を守る散水凍結の際に使用する水は、最上川中流土地改良区が流す水の利用も可能となるよう調整を進めて欲しいとの声があるがどうか。

【答】地元ニーズを踏まえ、水利権を有する国等へ適切に取り次ぐ。

【問】流域治水の観点からも「田んぼダム」を推進すべき。

【答】受益者(下流住民)と負担者(農業者)が一致しない課題があるが、県も予算を確保し、国の多面的機能支払交付金の加算措置を最大限活用して計画的に推進する。

【問】トンガ沖の海底火山の噴火で、1992年のピナツポ噴火後の冷夏による「平成の米騒動」のようにならないかとの心配がある。対応方針と当時の教訓反省如何。

【答】冷夏での水温管理や「いもち病」発生防止などの技術的な積み重ねがありその普及に努める。米の国家備蓄が当時に比して充実し、民間在庫も増えており、当時とは状況が異なる。当時、騒動直後に米増産のため生産調整を緩めてしまい、ブロックローテーションがもうまく進まなかったのが教訓。

【その他】カントリーエレベータ等老朽施設更新支援や、農業用ため池の安全確保、林業再造林のための支援、高騰する燃油対策等について、県の考えを確認し提案しました。

県議会本会議、委員会での「梅津ようせい」の議事録はこちら⇒



副知事へ要望

飯田から成沢公民館付近までの県道の安全化を要望

成沢地区の皆様との意見交換を踏まえ要望活動を行いました。

① 成沢公民館前T字路交差点の改良

ラッシュ時の北上路線混雑により、南下車両の右折が困難で渋滞が発生し、旧道への車両流入で住民への危険が発生。

② ヤナセ自動車前交差点の信号機改良

死亡事故が発生したにもかかわらず信号機が歩行者用となっており、感应式信号への改良を要望。

③ 元相馬呉服店前交差点の改良(拡張等)

狭あいで往来が困難。道路拡張及び停止線再塗装を要望。



活動記録写真 (県内各所で皆様の声を聴いてまいりました)



⑨ 須川災害復旧工事について状況聴取
(村山総合支庁)



⑩ 飯田被災現場復旧工事現場説明会
(山形市)



⑪ 半郷沢被災地復旧状況調査
(山形市)



⑫ 米価下落対策等吉村県知事への
申し入れ (県庁)



⑬ 平山雅之副知事就任あいさつ
(県議会)



⑭ 特別委員会 DX(デジタル)化
関連現地調査 (金沢若松市)



⑮ 凍霜害ぶどう棚の状況調査
(高島町)



⑯ 合板製造会社視察
(新庄市)



⑰ 県栽培漁業センター視察
(鶴岡市)



⑱ 置賜農業高校畜舎視察
(川西町)



⑲ 自衛隊募集現場視察(芳賀参議院議員と)
(山形市)



⑳ 県防災士養成講座 避難所訓練支援
(三川町)



㉑ 副知事への地域密着の政策要望
(県庁)



㉒ 新設された県発酵試作
支援センター視察 (山形市)



㉓ 飽海建設組合から人材育成関連
申し入れ(舟山参議院議員と) (須田町)

地域での活動

須川の改修がさらに前進

「最上川緊急治水プロジェクト」における「須川」の改修が決まり、まずは、常盤橋から陸合橋までの「蔵王成沢工区」の築堤が始まります。成沢側東岸の堤防は川の内側へ、西岸の片谷地方面は川幅をさらに西側に広げての築堤になるため、坂巻の常盤橋は架け替えになる予定です。地域の皆様には大変なご苦勞をおかけすることになりますが、これらの工事で須川の氾濫の危険性が除去され、恐怖心が少しでも減るようになると思います。なお、その後は、門伝橋から村山犬川合流点までの「前明石工区」の工事が、そしてその後、村山犬川合流点から常盤橋までの「吉原工区」の工事が行われる予定となっています。



追悼 鹿野道彦先生

鹿野道彦元農林水産大臣が昨年10月21日に鬼籍に入られました。大臣政務秘書官として1年6か月間働かせていただき、農林水産業、そして政治のリーダーシップの何たるかを、そばで学ばせていただきました。鹿野先生が残された「山形新幹線」という偉業をさらに発展させるため、新しい福島-米沢間のトンネルの建設を初め、県土整備や交通政策、農林漁業政策等地域のための各種施策を、県議会議員としてしっかりと考えていきたいと思っております。



新型コロナ関連各種支援

マンガ配信

「がんばれうめつくん!!」(雪降ろし編)

新型コロナまん延で苦しむ事業者への支援。該当する方は期限に遅れぬよう申請下さい。

①事業復活支援金(中小企業庁)(5月31日迄)

売上が30%以上減少したフリーランスを含む事業者への支援。応募前に確認機関の事前確認必要ですが、商工会議所・行政書士・税理士等により無料で行うことができる機関があります。

②小学校休業等対応助成金(5月31日迄)

新型コロナで休校になったために、保護者が有給休暇を取得した場合に、その賃金を支援。(事業者申請が基本ですが保護者個人の申請もでき、簡略化!野党の働きかけが実現!)

③まん延防止等重点措置「感染拡大防止協力金」

(3月31日迄)(山形県)

期間中に時短等で協力した方への協力金。

④飲食業等緊急支援給付金(2月28日迄)及び

宿泊業緊急支援給付金(3月10日迄)(山形県)

売上が30%以上減少した飲食業等や宿泊業事業者への給付金です。



ホームページではうめつくんのマンガを連載中!! (<https://www.umetsuyosei.jp/>)

